

1 研究主題

主体的に学ぶ児童の育成
～つなぐ力を高める算数科の授業を通して～

2 研究主題設定の理由

新学習指導要領では、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」、育成することを目指す資質・能力を3つの柱で整理した。各教科の見方・考え方を働かせ、このような資質・能力を育むために、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が求められている。

昨年度は、研修主題を「主体的に学ぶ児童の育成 ～問いや思いをもち、学び合う力を高める算数科の授業を通して～」とした。教科を算数科に絞り、問いや思いをもち、学び合う力を高めることを通して主体的に学ぶ児童の育成をめざし研修に取り組んだ。

成果として、学級経営を土台とし、導入の工夫を行うことで問いや思いをもち、学びに向かう姿が見られた。また、全教職員が同じ方向性で「図一式一言葉」を大切にしたい授業を行うことで、児童も図を使って説明しようとする姿が見られた。しかし、課題として、問題文を正しく読み取りイメージする力が弱いこと、基礎・基本が身に付いていないこと、友達の考えを聞き取る力や考え・意見をつなぐ力が弱い姿が見られた。また、全国学力・学習状況調査や学力定着状況確認問題では、算数用語や式を用いて筋道を立てた説明に課題が見られた。

そこで、本年度は、研修主題を「主体的に学ぶ児童の育成 ～つなぐ力を高める算数科の授業を通して～」とした。

新学習指導要領では、算数科において、数学的な見方・考え方を働かせながら、数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能の習得、数学的な思考力・判断力・表現力、学んだ事柄を主体的に生活や学習に生かそうとする態度等を育成することが示されている。自分の考えを「図一式一言葉」を用いて表現したり、自分の考えと友達の考えとを比較・検討したりするようにつなぐ力を高めることで、自分の考えを再構築したり、深めたりすることができるだろう。また、これまでの学びを基に新たな見通しや別の解決策を見出すようにつなぐ力を高めることで、あきらめずに学びにおかうことができるだろう。このように、全教職員で「つなぐ力を高める」ことを意識した算数科の授業を研究し、主体的に学ぶ児童の育成をめざす。

3 実践にあたって

☆「つなぐ力」とは

- ・自分の考えと友達の考えを比較、検討し、共通点、相違点を見つける力
- ・友達の考えを聞き取る、再現する力
- ・自分や友達の考えを、「図」「数」「式」「算数用語」「言葉」などをつないで伝える力
- ・比較・検討して（共有して）つないだ考えを、自分で説明・かく力
- ・学んだことを、日常生活・社会や他の単元・次学年につないで生かす力

☆どのように高めるのか

- ・対話の機会を設定する→共通点・相違点を見つける
- ・学習の見える化(掲示)して既習事項をいつでも使えるようにする
- ・授業始めに前時の復習をする
- ・友達の考えを聞いた時に反応させる

☆そうすることで

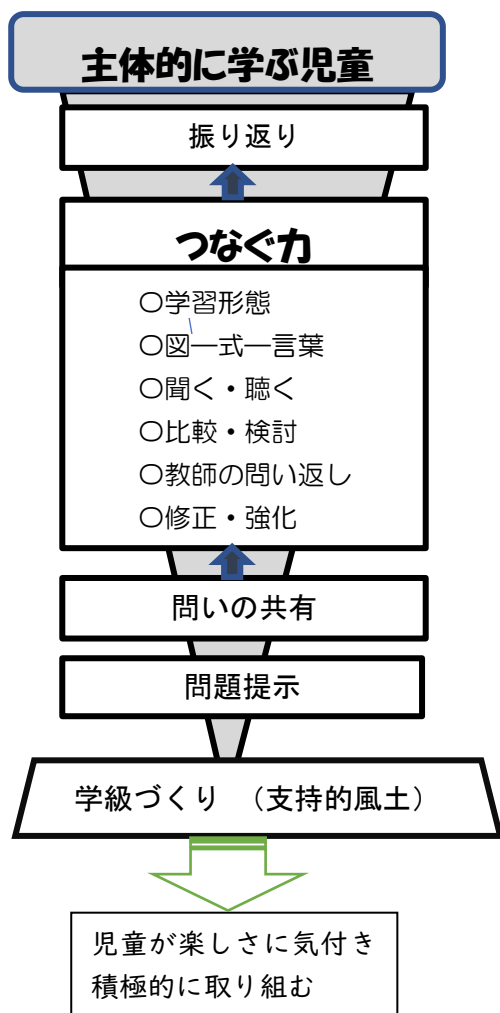
- ・新たな考えを構築できる→諦めずに取り組むことができる
- ・これまでの学びを基に新たな見通しをもつことができる
- ・うまくいかない時に別の解決策を見出すことができる
- ・疑問を感じたり見通しをもって学びに向かったりすることができる
- ・自分事として考えることができる

主体的に学ぶ児童が育つ

【めざす児童の姿】

【主体的に学ぶ児童】

- ・進んで調べたり説明したりして、自分の考えを深める



主体的な学びを実現するためには…

導入

- ・子どものズレが生まれる学習課題、多様な考えがある問い
- ・一人ひとりの必要感のある課題
- ・一人ひとりが自分の考えをもてる問い

展開

- ・自分なりの考えをもたせる
- ・対話の必然性
- ・身に付けた基礎的・基本的な概念(知識・技能)は、生活や学習の基盤となり、他教科の学習でも活動の基となる。算数の学習において発展させていくための基となる。
- ・表・グラフからきまりを発見するなどの探求的な活動
- ・解決した問題から新しい問題をつくる発展的な活動

終末

- ・自分の感情を振り返らせる⇒次の学習へのエネルギーに
- ・次時の予告を入れてその予想を振り返りに書かせる⇒次時の導入で紹介

「主体的な学び」が実現できた子どもの姿とは、子どもが活発に取り組んでいるという外見上の姿だけではない。疑問を感じたり、見通しをもって学びに向かったり、うまくいなくても粘り強く取り組んだり、学びの意味を自覚したりする姿は、外見上は積極的に学びに向かう姿に見えないかもしれないが、「主体的な学び」が実現できている姿と捉えてよい。

4 研修の成果と課題～次年度に向けて～

今度の研修主題「主体的に学ぶ児童の育成」では、算数科指導を中心にしてつなぐ力を高めることを通して主体的に学ぶ児童の育成をめざし研修に取り組んだ。図・式・言葉をつなげたり、既習事項と学習内容をつなげたり、学んだことを日常生活や他教科との学習につなげたりすることで、主体的に学ぶ児童の姿が少しずつ見られるようになってきた。また、これまでの学びを基に新たな見通しをもったり、新たな考えを構築したり、自分なりに考える姿が児童の中に見られるようになってきた。ただし、自分の考えを伝えるだけで友達の考えと比較・検討することができなかったり、学び合いを通して考えを深めることまでできなかったりしている。全ての学習においての基盤となる学級づくりを通して、互いの違いやよさを認め合い、他者との豊かなかわりを通して、生き生きと生活する児童を育てることにも目を向ける必要があると考える。よりよく生きるための基盤となる力の育成のため、今後も充実した研修を進めていきたい。